



「移民」と「外国人」と 共に生きる社会

— 私たちはなぜ「移民」を「よそ者」として
「我々」と分けてしまうのか —

龍谷大学龍谷価値創造推進センターでは、市民の方が「学究的に学ぶ」広場として、幅広い世代の知的好奇心に応える多彩な公開講座「龍谷アカデミックブラザ」を開講しています。主に本学のキャンパス内での対面形式に加え、多くの講座はオンライン形式でもご受講いただけます。この機会に、アカデミックな学びを深めてみませんか。

講師：デブナール ミロシュ

龍谷大学国際学部 准教授

京都大学大学院文学研究科博士号を取得、同志社大学社会学部助教を経て、2017年に龍谷大学へ着任。

スロバキア出身で京都に約20年在留し、日本の移民、留学生や人種について社会学的な観点から研究を進め、社会学、移民研究や人種について教授する。



▶ 講座概要

特にコロナ禍が鎮静してから、「移民」や「外国人」をめぐる議論が活発になり、かつて移民が少ない社会とされていた日本でも「移民」が大きな課題となってきました。その中では、特に「移民」を「よそ者」として問題視する傾向が目立ち、厳格に管理・選択すべきであるという見解が広がっています。

本講義では、まず歴史的背景および国内外のデータに基づいて「移民」に関する動向を確認し、「移民問題」とされている根拠について最新のデータと事例に依拠しながら吟味します。

続いて、移民と受け入れ社会に関する課題、および移民の統合、つまり移民がどのように受け入れ社会の一員となっていくか、その中でなぜ、どのように排除されることがあるかについて、議論と研究結果を紹介します。

その上で、そもそもなぜ「移民」を「問題」や「共生が難しそう」な「他者」とみなしてしまうのか。多様化が進む日本社会において、そのような「他者」と共生することがいかにして可能かについて考えます。

▶ 開講日時 ※いずれも11:00~12:30に開講

【第1回】2026年6月22日(月)『移民とはだれか、どう迎えられてきたか』

【第2回】2026年6月29日(月)『日本における移民の現状-多様化する社会』

【第3回】2026年7月 6日(月)『日本における移民の現状-定住化と統合』

【第4回】2026年7月13日(月)『「他者」と「我々」を乗り越えた社会とは?』

▶ 開講場所：龍谷大学深草キャンパス

▶ 申込方法

申込締切：2026年6月17日(水)23:59

受講料：7,920円(税込)

詳細・お申込みについては、右記のQRコードを読み取っていただくか「龍谷アカデミックブラザ」と検索してください。



問い合わせ先：龍谷大学価値創造推進部

E-mail：s-impact@ad.ryukoku.ac.jp

Tel:075-645-7892

RYUKOKU University

龍谷アカデミックブラザ